

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働合
横浜地方本部
発行者/小清水和彦

2024年度夏季手当 1.0ヶ月分の追加支給を要求!

5月13日、東日本ユニオンは、3月8日に「令和6年度の夏季手当に関する協定(案)」「令和6年度のエルダー社員の精勤手当(夏季支給分)の支給に関する協定(案)」について会社と解明交渉を行い、5月14日に締結しました。

2024年度夏季手当の解明交渉で会社は「賃上げと同時議論をすることで変革2027が掲げている社員・家族の幸福を具現化し、社員の皆さんが計画的な生活設計を立てることができる。それにより働きがいの向上につながる」から提案したとしています。

東日本ユニオンは、正当な成果配分を求めるために、5月20日に「2024年度夏季手当について1.0ヶ月分の追加支給を求める申し入れ」を行いました。



JR東日本の2024年3月期決算では、**右肩上がりの成果**を成し遂げています。さらに支出関連で言えば、**株主配当を15円増配**、高輪ゲートウェイ駅付近や各地で行われている**不動産事業等にも多くの支出を行える会社**へと変貌を遂げているのです。



しかし社員に対する夏季手当回答では、**昨年同時期の基準内賃金から夏季手当支給2.5ヶ月+5万円(2.65ヶ月相当)**を見ると**2.83ヶ月分に相当する額になる**ということも示しています。しかし月数で言えば、**昨年の支給月数から0.05ヶ月しか増えていない**のです。あまりにも増加数の低さを出さないよう社員を欺いているようにしか見えません。

東日本ユニオンは、好調な2024年3月期決算の結果は、組合員や社員が努力した成果であり、好調な決算の正当な成果配分を求め「基準内賃金の1.0ヶ月分」の追加支給を求める申し入れを会社に提出しました。

職場から声をあげ、追加支給を勝ち取ろう!